

CAR No.34&35

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2011/ 8/28

Albirex-RT

スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 2 戦

8月28日 決勝

1 LAP=3.422km

天候：晴れ コース：ドライ

気温：29℃ 湿度 42% 路面温度：54℃

ドライバー：清水清孝 (Albirex-RTGIA.Mot.ED #34)

板橋健幸 (Albirex-RTmoty ビヨンド ED #35)

決勝結果：板橋選手 6位入賞

清水選手 8位

## 板橋選手が自身初の入賞を果たす！！ 清水選手は追撃及ばず

第1戦より1台少ない12台で争われたもてぎシリーズ第2戦は28日、東コースで予選と決勝が行われた。午前中に行われた予選では上位6台がコースレコードを更新するハイレベルな戦いになり、清水選手が8番手、板橋選手が9番手のスターティンググリッドを得る。両選手とも第1戦では届かなかった入賞を目指して決勝を迎える。

決勝スタート直後、両選手とも好スタートを決め、第1コーナーで清水選手が5番手、板橋選手が6番手までポジションアップを果たす。しかし、すぐさま後続車の追い上げに遭い、3周目に入るまでにそれぞれ8番手、9番手まで、順位を下げてしまう。

ところが、4周目の第5コーナーで、1台がコースアウトし横転する大クラッシュが発生。これによりレースは赤旗が振られ、約20分間の中断となる。このクラッシュの影響で、レギュレーションにより2周完了時点を第1パートとし、第1パート完了時点の順位で再度フォーメーションラップを行い第2パートがスタート。第2パートは6周という極めて短いスプリントとなる変則的なレースで争われることになった。

第2パート、清水選手は8番手ポジション、板橋選手が9番手ポジションスタートながら、6・7番手がクラッシュによるリタイヤのためグリッドには着かない。事実上それぞれ6位、7位からのスタートとなった。

第2パート、板橋選手はまずまずのスタート。清水選手はスタートにもたつき7番手まで落ちてしまうが、すぐさま挽回。2周目では清水選手が5位、板橋選手が6位と果敢な走りを見せ、ダブル入賞に大きく期待を膨らませる。

しかしその直後、スタート時のもたつきがジャンピングスタートとみなされ、清水選手

にドライビングスルーペナルティが科せられる。これにより清水選手は8番手にまで順位を落としてしまう。

その後、板橋選手は1つポジションを落としたものの終始安定したラップを刻み、キャリア初の6位入賞。清水選手は周回を重ねるごとに7位との差を詰めていったものの一歩及ばず、8位フィニッシュとなった。

#### 清水選手コメント

自分のミスで入賞のチャンスを逃してしまい残念です。今回のミスを二度としないように気をつけて、次戦では改めて入賞を狙います。

#### 板橋選手コメント

運にも恵まれ初入賞できてよかったです。ただ、自分としては納得はできていないので、次は自分でも納得できるレースをして上位入賞したいと思います。

#### 中村監督コメント

今年度の目標である入賞がまたできたので、ゆっくりとではありますが、着実に実力は上がっていると思います。これからはトップ3を目指し努力いたします。



 Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
増玉・川口  
<http://www.tkcni.com/sds>

P PLUS

Moty's  
RACING LUBRICANT TECHNOLOGY

